

発行：2008年2月1日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

環境 NGO と市民の集い <シャンティ山口参加・発表>

地球環境市民大学校中国・四国ブロック

「残したい環境 伝えたい保全活動 ～発信と交流のプラン作り～」

シャンティ山口トイレ事業 世界に発信！！

2008年1月27日(日) 10:00～16:30 岡山県倉敷市芸文館にて

主催：独立行政法人 環境保全再生機構 地球環境基金部

企画・運営：水島地域環境再生財団(みずしま財団)



地球環境基金

1月26日事前会議と、つどい当日シャンティ山口から角代表と、事務局佐伯が参加し、活動報告と、参加者の皆さんと共に学びました。

環境からの異文化交流・情報発信！

つたえるから、つたわるへ。

異なる視線を、意識してみよう。

「地域のことを考えると世界につながる」そんな経験をしたことがありますか？

異なる価値観を知り、発信し、交流することで、つながっていく。それは、新たな価値を生み出すことです。

「環境 NGO と市民のつどい」では、中国・四国地区を拠点に環境保全活動に NGO 13 団体が集まり、活動を知り、それらの活動や、地域の資源を国内外に伝えるイベント作りを体験しました。

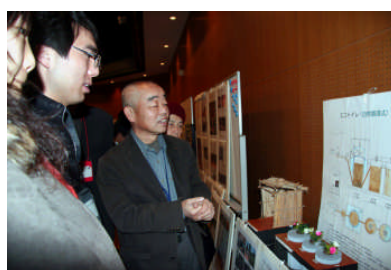
講師山田和夫氏・高田研氏によるワークショップ

「残したい環境 伝えたい保全活動 ～発信と交流のプラン作り～」が行われ、各グループのファシリテーターのもとに楽しく、時間を忘れ熱中した有意義な学習が展開されました。

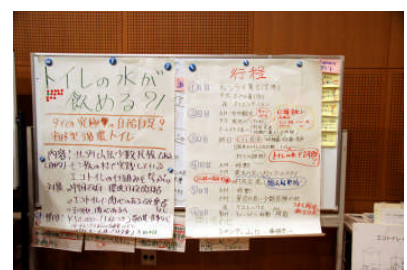
学習の様子をご覧ください



山田和夫氏による特別講演



模型を交えての説明



シャンティ山口グループのエコツアー企画



21世紀国際協力活動しまね実行委員会



(財)宍道湖・中海汽水湖研究所



(財)島根県文化振興財団



晴れの国野生生物研究会



NPO シャンティ山口



NPO 水環境地域ネットワーク



NPO 日本ツキノワグマ研究所



NPO ひろしま生涯教育研究所



(財)水島地域環境再生財団



よみがえれ四万十源流の会



(社)生態系トラスト協会



(社)大川村ふるさと村公社



おらの炭小屋



第2位受賞水環境地域ネットワーク



第1位受賞(社)生態系トラスト協会

水島地域環境再生財団（みずしま財団）からのお礼のコメント

当日は、熱気あふれるワークショップになり予定していたゴール「企画のプロセスを通じて、海外からのまなざしを鏡として、他団体の活動を深く知ると共にみずからの活動を振り返る」が十分に達成する事ができたと感じています。皆様は、いかがでしたか？

今回のつどいがきっかけに、環境保全活動や、市民活動のネットワークが広がることを期待しています。 スタッフ一同

今年も活動報告写真展 「写創蔵」 で

シャンティ山口では、

「写創蔵」での活動報告・写真展も3回目を迎え、恒例行事となりました。初回から多くの皆さんに支えられご理解とご協力のおかげをもちまして現地の状況も明るい兆しが見えています。活動の支えと励ましに感謝しております。

今回のテーマは、

昨今の気象の異変に危惧し、遅ればせながら現地で地球環境保全の取り組みを強化しています。現地の人たちとトイレ造りをとおして共に学び、微弱ながら地球環境保全対策や、生活のお手伝いを実施しています。シャンティ山口の支援事業の一つ（自然循環式バイオトイレ+メタンガスによる家庭用燃料製造装置）の中で有効な自然素材として、竹を利用し竹の持つ特殊な作用による成果が顕著に表れてきています。

暮らしの中での竹に対する見方も変わり、竹の文化を誇りに思い改めて竹のおかげと竹のすばらしさに感謝しながら、これからも竹と共に生きることが「モン族」の文化を継承し豊かな明日が約束できると信じて、自然と共に暮らしています。

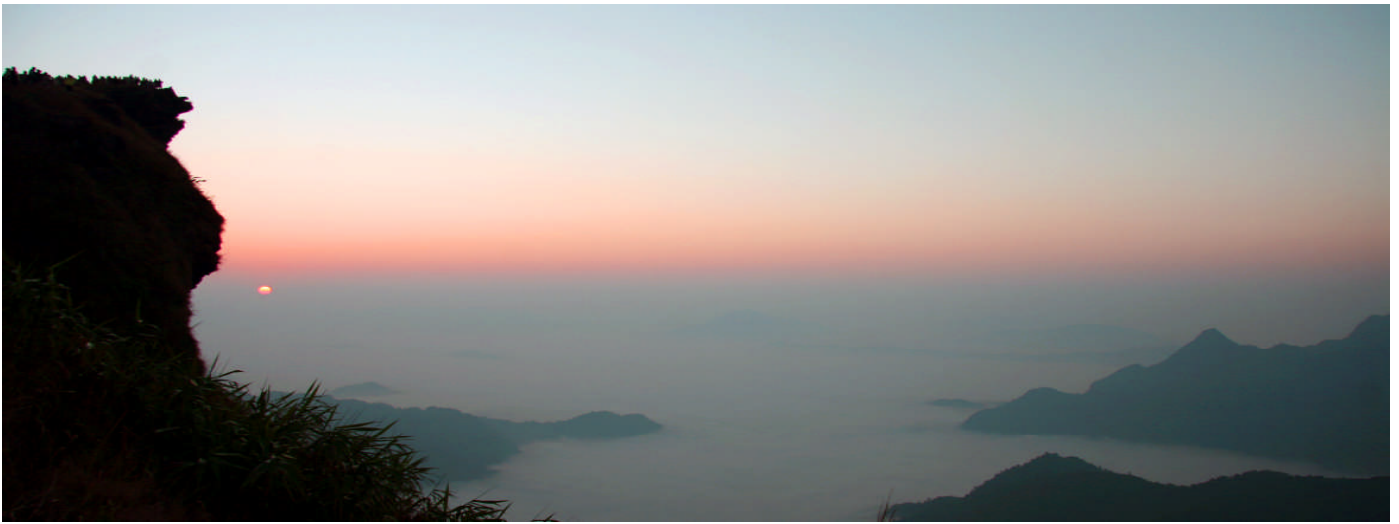
生きていく上での竹に対する思いや生活用品は、日本で使われてきたものほとんどが同じで「モン族」と日本人は、ルーツは同じであることがうなずけます。

自然と共に生きる自由の民「モンの人々」と共に歩んだ15

年の記録

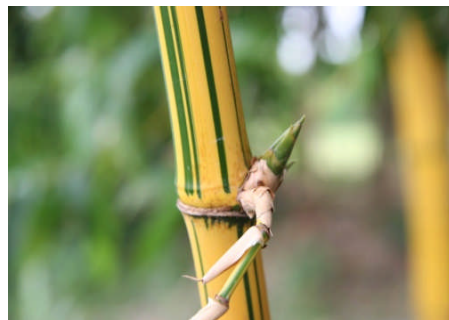
をとおして「自分自身の生活や地球環境について考え、今を生きる私たちの責任として自分にできることから実践しませんか！！」

国境と民族を超えて ～共に生き・共に学ぶために～



「今日の始まり」ラオス国境の断崖「プーチーファー」

竹 たけ



絆 きずな

タイ王国 モンの民と共に歩んだ15年



自然と共に生きる自由の民「モンの人々」写真展

「竹 展」同時開催(お声がけで、ご賛同いただいた作品の展示)

活動報告：15年の歩み・教育・伝統文化・高齢者福祉・女性自立・生活衛生・地域環境保全

*日本の農家の知恵「肥溜めと畠」をヒントに考案した、タイで好評の「自然循環式バイオトイレ」の模型も展示して地球環境保全の啓発活動も行っています。

～ 皆様のお越しをお待ちしています。～

開催期間：3月1日（土）～3月31日（月）

開館：午前11時～午後4時 休館日：毎週水、木曜日

場所：美祿郡美東町赤 秋吉台フォトギャラリー **写創蔵**

後援：地球環境基金 ・(財)山口県国際交流協会